

《グラフィア》

体験的な学びを支える校外学習

《木下の言葉》

(独自)学習指導の形式3発問

(1~9の内3)

◆平成の学習法 学習法と異学年交流 日和佐 尚 (4)

【主題】 自律的に学ぶ子どもを育てる学習法  
——「独自学習のノート」論——

独自学習のノート制作によって育つもの 梶田 萬理子 (6)

学習ノートに学習作文を書く 小幡 肇 (12)

活動(「作業」)の発展を図る 畔柳 英徳 (18)

けいこ(算数)の独自学習とノートの活用 藤原 素子 (24)

《特別寄稿》

子どもにとっての運動の習得  
——身体運動学の視点から——

【実践】

家の近くの地層調べレポートを書く  
——六年理科「奈良の大地のしくみと変化」の学習—— 谷岡 義高 (30)

子どもの発想力・思考力が活発化する題材を  
——「場面が変わる」「枚紙芝居」(三年生)の実践から—— 大野木 位行 (36)

朝の会(ななかよし)  
——生活の気づきをどのようにして表現につなげるのか—— 西下 旬也 (42)

自律的な読みを深める教師の出方その二  
——物語「大造じいさんとガン」(五年)—— 西田 淳 (48)

教師の日記 子どもから学ぶ 河田 慎太郎 (54)

◆しごと⑦ 「しごと」形成後の実践  
——真に目指していた実践①(昭和23年度)—— 小幡 肇 (56)

◆けいこ① 「けいこ」が生まれる 日和佐 尚 (58)

◆ななかよし⑦ グループななかよし 谷岡 義高 (60)

《実践寄稿》

地域とのかかわりを通して  
——二年『お世話になっている人』の実践—— 江口 純吉 (62)

学校だより (68) 会員のひろば (69) あとがき (70)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫

